

機能変更のお知らせ dp2 Quattro (ファームウェアバージョン 1.05)

本製品は、ファームウェアのアップデート（ファームウェアバージョン 1.05）により、以下の機能が追加・変更となります。

ご注意!!

- ファームウェアのアップデートにより、セットアップメニューに新しい項目が追加されます。使用説明書のメニューリスト(P.29)と並び順等が変更になりますのでご注意ください。

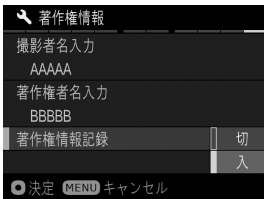
著作権情報記録機能が追加されました。(1.05 以降)

撮影時に「撮影者」と「著作権者」の情報を画像の Exif 情報に記録することができます。

- 「撮影者」「著作権者」それぞれ半角英数字・記号で 48 文字まで入力できます。

1 「カメラ設定」(P.27) → 「著作権情報」を選びます。

2 著作権情報画面で「撮影者名入力」または「著作権者名入力」を選び、後述の「文字の入力方法」の手順に従い、文字を入力します。



3 文字の入力が完了したら、著作権情報画面の「著作権情報記録」から「入」を選びます。(その後の撮影から画像に著作権情報が記録されます。)

ご注意!!

- カメラを貸したり譲渡する時などは、「著作権情報記録」を「切」にしてください。また「撮影者名入力」と「著作権者名入力」は空欄にしてください。
- 著作権情報記録によるトラブルや損害が生じた場合、当社では一切責任を負いません。

文字の入力方法

撮影者名入力および著作権者名入力画面



入力文字表示エリア
入力文字表示エリアのカーソルは前後ダイヤルで移動できます。

キーボードエリア
キーボードエリアのカーソルは<>ボタンで移動できます。

1 キーボードエリアで入力したい文字を選び、OK ボタンを押して入力します。

A/a	キーボードをアルファベットに切り替えます。アルファベットの表示中は、押すごとに大文字/小文字を切り替えます。
#+=	キーボードを記号に切り替えます。
SPACE	1文字分のスペースを挿入します。

2 一通り文字を入力したら、FINISH を選び、OK ボタンを押して確定します（前の画面に戻ります）。

- MENU ボタンを押すと、入力した文字はキャンセルされ、前の画面に戻ります。

入力した文字を消したい場合

前後ダイヤルで名前エリアのカーソルを消したい文字の後ろ側に移動し、AEL ボタンを押します。

記録された著作権情報を確認するには…



- 画像情報 (P.94) の表示中に、ボタンを押すと著作権情報表示に切り替わり、著作権情報（撮影者 (PHOTOGRAPHER) ・ 著作権者 (COPYRIGHT)）が確認できます。

- 記録された情報は、SIGMA Photo Pro の「撮影情報ウインドウ」や Exif 対応ソフトでも確認することができます。

フレーム半透過機能が追加されました。(1.05 以降)



3:2 以外のアスペクト比での撮影では、通常、フレームが黒く表示されますが、半透明表示にすることで、周囲の状況も確認できるスポーツファインダー的な使い方が可能になります。

「カメラ設定」(P.27) → 「フレームの表示」より設定してください。

黒 (初期設定)	フレームが黒く表示されます。
半透明	フレームが半透明表示になります。

インターバルタイマー撮影の最短間隔が短くなりました。(1.05 以降)

撮影間隔は 4 秒～60 分の間で設定できます。

設定方法は、使用説明書の「インターバルタイマー撮影」(P.58) をご覧ください。

- 画質と画像サイズの組み合わせにより、設定できる最短の撮影間隔が変わります。

		画像サイズ			
		S-HI	HIGH	LOW	S-LO
画 質	RAW+J	/	8 秒	4 秒	/
	RAW	/	8 秒	4 秒	/
	FINE	7 秒	7 秒	4 秒	4 秒
	NORM.	6 秒	6 秒	4 秒	4 秒
	BASIC	6 秒	6 秒	4 秒	4 秒

- 撮影間隔を短めに設定した場合、撮影画面に戻らないうちに次の撮影が始まる場合があります。

画像のアスペクト比 (横縦比) に「7:6」が追加されました。(1.05 以降)

6×7 版カメラとほぼ同じ横縦比での撮影が可能です。

設定方法は、使用説明書の「アスペクト比の設定」(P.70) をご覧ください。

画像サイズに「S-L0」が追加されました。(1.05以降)

設定方法は、使用説明書の「**画像サイズの設定**」(P.70)をご覧ください。

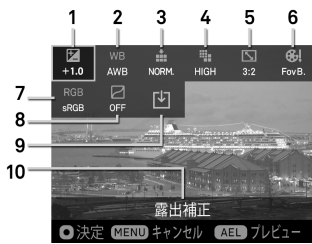
- 「S-L0」は、画質の設定がJPEG (FINE、NORMAL、BASIC) の時のみ設定できます。
- 「S-L0」時の各画質・アスペクト比の組み合わせによる記録画素数とおおよそのファイルサイズは以下のようになります。

アスペクト比	記録画素数	画質		
		FINE	NORM.	BASIC
21:9	1.6M (1920×816)	1.1 MB	0.6 MB	0.5 MB
16:9	2.0M (1920×1080)	1.5 MB	0.8 MB	0.6 MB
3:2	2.5M (1920×1280)	1.8 MB	0.9 MB	0.7 MB
4:3	2.2M (1696×1280)	1.6 MB	0.8 MB	0.6 MB
7:6	2.0M (1584×1280)	1.5 MB	0.8 MB	0.6 MB
1:1	1.7M (1280×1280)	1.2 MB	0.6 MB	0.5 MB

カメラでRAWデータを現像する (1.03以降)

パソコンを使わずに、RAW形式で記録された画像から、JPEG形式の画像を作成することができます。

RAW現像設定画面



1	露出補正 (P.75)
2	ホワイトバランス (P.61)
3	画質 (P.69)
4	画像サイズ (P.70)
5	アスペクト比 (P.70)
6	カラーモード (P.78)
7	カラースペース (P.82)
8	トーンコントロール (P.81)
9	現像実行アイコン
10	選択されている項目

1
RAW画像の表示中に **MENU** ボタンを押して「再生設定」(P.27)を開き「RAW現像」を選びます。

2
サブメニューで、以下のいずれかの方法でRAW現像したい画像を選びます。

ファイル選択	<p>◀▶ ボタン (9 画像表示時は◀▶▶ ボタン) で現像したい画像を表示させ、OK ボタンを押して確定します。</p> <p>● 「ファイル選択」は、手順1で画像を表示していなくても実行できます。</p>
現在のファイル	<p>手順1で表示した画像が選ばれます。</p> <p>● 手順1でJPEG画像を表示した時は「現在のファイル」を選ばれません。</p>

● 画像の選択後、RAW現像設定画面が表示されるまで、「処理中...」とメッセージが表示されます。

3
RAW現像設定画面で、◀▶ ボタンで変更したい項目を選び、**OK** ボタンを押して確定します。

● ホワイトバランス (P.61) とカラーモード (P.78) は、各オプションに対して詳細な設定が可能です。**INFO** ボタンを押して詳細設定画面を表示させてください。詳しくは各項目のページを参照してください。

4

画像を確認しながら、前後ダイヤル、もしくは◀▶ ボタンを押して調整値 (もしくはオプション) を変更し、**OK** ボタンを押して確定します。

5

変更したい項目が複数ある場合は、手順3~4を繰り返します。

6

一通り設定が完了したら、**OK** (現像実行アイコン) を選び **OK** ボタンを押します。

7

◀▶ ボタンで「はい」を選び、**OK** ボタンを押して確定します。中止したい場合は、◀▶ ボタンで「いいえ」を選び **OK** ボタンを押します。



● 再生時、RAWデータから作成されたJPEG画像には再生マークが表示されます。

● 作成されたJPEG画像のファイル番号は、カードに入っている最後のファイルの次の番号が割り当てられます。

ご注意!!

- カードに十分な容量が無い場合、警告メッセージが表示され、RAW現像を実行できません。
- より細かな調整が必要な場合はSIGMA Photo Proでの現像をおすすめします。

Mモード時のLCDモニター表示について (1.02以降)

露出モードがMのときは、写真の仕上がりをイメージしやすくするために、実際の露出が画面に反映され、露出アンダーのときは暗く、露出オーバーの時は明るくなります。例えば、他社製のフラッシュを使用してMモードで撮影する場合、画面が暗い状態ではピントや構図の確認が困難になります。そのような場合は、実際の露出を反映せず、画面の明るさを調整するモードに切り替えることができます。

「撮影設定」(P.27) → 「Mモード時モニター露出反映」より設定します。

切	見やすい明るさに自動調整されます。
入 (初期設定)	実際の露出が反映されます。

メモ

- エレクトロニックフラッシュEF-140S SA-STTLを使用する場合は、「入」に設定していても、見やすい明るさに自動調整されます。